

18年10月25日

第25号

素流協 News

平成18年10月25日発行・発行所 岩手県素材流通協同組合 盛岡市菜園1丁目3-6 電話 019 (652) 7227 / FAX 019 (654) 8533

平成18年度 合法材証明認定事業者

認定 No.	認定事業者	住所
素流協-001	荒川商事 有限会社	二戸市
素流協-002	有限会社 泉林業	住田町
素流協-004	岩手県国有林材生産協同組合連合会	盛岡市
素流協-005	岩手県造林事業協同組合	盛岡市
素流協-006	有限会社 岩手木材運送	岩手町
素流協-007	株式会社 小笠原林業	八幡平市
素流協-008	小野寺木材 株式会社	盛岡市
素流協-009	株式会社 鹿兒島屋	盛岡市
素流協-010	小岩井農牧株式会社	大船渡市
素流協-011	株式会社 昭林	青森市
素流協-012	有限会社 白桃林業	盛岡市
素流協-013	有限会社 佐々木農林	岩手町
素流協-014	株式会社 佐藤木材	大槌町
素流協-015	有限会社 杉本造林	奥州市
素流協-016	住田素材生産業協同組合	八幡平市
素流協-018	トーマ木材(株)	住吉町
素流協-020	明和フォレストック(有)	岩泉町
素流協-021	(有)谷地林業	奥州市
素流協-022	有限会社 山一木材	久慈市
素流協-023	横澤林業	一岩市
素流協-024	株式会社 吉本 岩泉事業所	岩手町
素流協-025	渡辺材木店	岩泉町
素流協-026	高橋木材	紫波町
素流協-027	高橋 巖	花巻市
素流協-029	有限会社 藤倉木材	滝沢村
素流協-030	松村林業	滝沢村
素流協-031	有限会社 松田林業	住田町
素流協-032	有限会社 加藤木材店	花巻市
素流協-033	伊藤林業	八幡平市
素流協-034	有限会社 津田商店	奥州市
素流協-035	有限会社 江刺屋林業	住田町
素流協-036	橋本林業	住田町
素流協-037	有限会社 佐藤木材	住田町
素流協-038	平山林業	大船渡市
素流協-039	中嶋 守	宮古市
素流協-040	岩渕木材	陸前高田市
素流協-041	有限会社 三栄興業	遠野市
素流協-043	丸巳林産 株式会社	北上市
素流協-201	株式会社 木島産業	青森県
素流協-202	杉本林業 株式会社	青森県
素流協-203	有限会社 川崎造材	青森県
素流協-205	青森県国有林材生産協同組合	青森県
素流協-206	株式会社 高橋林業	青森県

岩手県素材流通協同組合は、素流協ニュース第21号にて自主的行動規範と事業者認定実施要領を公表し、第23号にて素流協の合法木

材証明への取り組みについて報告したところでありますが、このたび団体認定制度に基いた「合法木材等証明事業者認定審査委員会設

素流協会員43事業者を認定 合法材証明の事業者認定

合法材とは？

ここでいう合法木材とは、森林関係の法令において合法的に伐採されたことが証明された木材のことを指します。

つまり、合法木材は伐採届け出等の正しい手続きを経て生産された木材のことです。

置要領」に沿って九月二十七日に審査会を開催し、会員の43事業体を認定し公表しました。

運用についても、第23号の素流協ニュースで述べておりましたが、素材生産者は、民有林であれば地

元市町村へ「伐採届出書」の提出の徹底を図り、その届出書あるいは適合通知書の写しを、また国有林であれば立木の売買契約書の写しを素流協へFAXするよう、周知をすすめております。

素流協による認定のほか、岩手県森連、岩手県請負協、岩手県木産協、青森県森連等の団体に認定された会員を含め、素流協の会員数の九四％が認定されており、素流協を通して合板工場へ納入され

る原木の九九・五％が合法材の証明ができる状況になっております。

早急に一〇〇％となるよう、全力を挙げて取り組んでいるところであります。

ヒロシの独白

「ウッドマイルズ」と「フォレストスターの技術者倫理」について



最近、私が関心を持っている事柄として、「ウッドマイルズという考え方」と「技術者(それもフォレストスターとして)の倫理のあり方」があります。このことについて、ただそれほど考察を深めているわけではないのですが、私がかたずさわっている森林・林業・木材産業と地球環境の保全等の環境問題や枯渇が懸念されるとともに循環利用の推進が期待される有限な資源に関する資源問題、エネルギーの大量な消費や廃棄物処理等の経済・社会問題についての関係を考

えるとき、前記の二つの事項が思い浮かぶとともにわが身に執拗にまとわり付いてくる感じがするのがあります。そこで今後、この二つの事柄についての私見がまとまった都度、この欄でブツブツと呟いてみようと思います。

今回は初回ですから、「ウッドマイルズ」と「フォレストスターの技術者倫理」について概論風に述べてみます。

(1)ウッドマイルズという考え方

ウッドマイルズとは、英語の「Wood Miles」で、「木材の産地から消費

地までの距離」を意味しております。実は、わが国において「ウッドマイルズ研究会」という特定非営利活動法人が平成15年6月に設立されておりますが、この研究会設立の目的・趣旨が「主に建築物に使用される木材の輸送距離を短縮し、輸送エネルギーの削減や地域需要の活性化を目指すため、木材の産地から消費地までの距離(ウッドマイルズ)に関する指標

の開発と普及に関する事業を行い、わが国の地域資源の活用と循環型社会構築に寄与する」ということ

であります。この設立の目的・趣旨の中にいう「ウッドマイルズに関する指標」というのはこの研究会において既に幾つか開発されておりますが、例えば、その一つの「ウッドマイルージ」は「産地から使用地点までの実際の輸送距離に当該木材の材積を乗じて得られる指数(m³・km)」のことであり、輸送される木材の量及び実際の距離を総合的に示す指数であります。

具体的に、このウッドマイルズの考え方をを用いてわが国の木材消費をみてみると、8割以上を輸入材に頼る日本の木材輸入量(五、二〇〇万m³)は米国の輸入量(六、〇〇〇万m³)よりも若干少ないのですが、我が国の方が遠方諸外国から多くの木材を輸入しているため、

木材量に輸送距離を乗じたウッドマイレージは米国の4倍にもなります。このことは何を意味するかというと、わが国の木材輸入量が米国よりも少ないにもかかわらず木材輸送にかかるエネルギーを4倍も消費しているということであり、これはほんの一例ではありますが、ウッドマイルズに関する諸指標を参考および活用することによって我が国の森林・林業・木材産業の今後のあり方の方向性を見出すための一助になるのではないかと考えるのです。

(2) フォレストターの技術者倫理

倫理とは何ぞや、から始めなければなりません。まず私自身が倫理的な人間かという自信がないのであります。ところが最近、私が直面した幾つかの場面で倫理的な対処とか倫理的な行動について考えさせられる、あるいは考える必要があるのではないかということにぶつかったのであります。そのことについては追々述べるところがあるでしょう。

さて、「倫理」ではありませんが、「倫」という文字は、「人々のまとまり」を表しております。また、「理」とは「不変の法則、道理」ということとあります。したがって、倫理とは、人々のまとまりを得るときに秩序・規範であり、すなわち、人間関係を正しく成立させる道理にかなった法則と言つてよいのではないのでしょうか。そこで考えてみると、「人々がまとまりを得るときに秩序・規範」といわれるものはたくさんあります。たとえば、正義、法律、規則、習慣、礼儀、道徳等々であります。それゆえに、「人間社会には倫理と思われれるものが網の目のように張り巡らされており、そして、倫理なしには人間社会は存在しない」とも言われています。

技術者のひとりであります私も一応フォレストターということになります。最近われわれが森林や林業に関わる時、その過程で環境問題、資源問題、社会・経済問題など人間との関係において実に広範・多岐にわたる解決を求められている課題が内在していることを実感するとともに、そしてこれらの問題のそれぞれが技術的に解決可能であったとしても、そこではただ技術の可能性を追求するだけではないのか、このような時にはやはり「技術をどう使うべきか」という倫理的な議論が必要になるのではないかと考えるのです。そこで、

落穂拾い

これから追々、実際に現場で森林に接し、林業・木材産業に従事しているわれわれ林業技術者が森林・林業と環境問題や資源問題、社会・経済問題との関係をどのように考え、いかに対処していくべきなのかを倫理的な観点から考察してみたいと思います。

先に述べたとおり、今回の「独白」は、「ウッドマイルズという考え方」と「フォレストターの技術者倫理」についての概論的導入部分であります。この先、この二つの課題について不定期に、独断的かつ頭脳混乱的な論理を展開することに致します。

それでは今、なぜフォレストター (Forester) の技術者倫理を取り上げたのかということでもあります。英語の「フォレストター」の訳語は、「林務官、森林管理者、森林労務者」であり、森林・林業に関わる

▽今年の10月でこれまで戦後最大の景気拡大期であった「いざなぎ景気」を超えたということであるが、現在の好景気というのは東京(中央)や名古屋、大阪などの大都市においての現象であり、地方では景気が格段によくなったという

実感がない。なぜ、岩手県に好景気の波が伝播してこないのだろうか。一説には、今の企業は儲かった分をかって抱え込んだ多額の借金について金融機関にせつせと返済して自社の財務力強化を図ったり、中国への工場進出等、投資に廻しているため、地方に好調な経済の潤いが届かないのだという。

平成18年9月分の販売実績 (組合員からの出荷分)

ホクヨープライウッド(株)、北日本プライウッド(株)の2社に出荷した組合員からの合板用丸太の9月の販売実績は下記の通りです。

ホクヨー4,954m³、北日本3,196m³となり2社合計で8,150m³にとどまり、7~9月の出荷の低調傾向は昨年同様でした。それでも昨年の5,970m³に比べると137%であります。アカマツを含めて10月からの積極的出荷に期待します。

項目 樹種	長級 m	径級 cm	販売先		計 m ³	累計 m ³	出荷割合	
			ホクヨープライウッド株	北日本プライウッド株			樹種毎 %	樹種毎 長級毎 %
			m ³	m ³				
スギ	2.0	14上	1,681	1,765	3,445	20,394		58.5
	4.0	14上	840	1,130	1,971	14,457		41.5
	計		2,521	2,895	5,416	34,851	62.1	100.0
カラマツ	2.0	14上	1,475	212	1,687	12,552		99.2
	4.0	14上	9	11	20	104		0.8
	計		1,483	223	1,707	12,656	22.6	100.0
アカマツ	2.0	14上	919	60	979	7,510		87.7
	4.0	14上	30	17	48	1,054		12.3
	計		949	78	1,027	8,564	15.3	100.0
合計			4,954	3,196	8,150	56,072	100.0	100.0

平成18年9月分の販売実績 (国有林材システム販売からの出荷分)

ホクヨープライウッド(株)、北日本プライウッド(株)の2社に出荷したシステム販売による合板用丸太の9月の販売実績は下記の通りです。

岩手県および青森県の森林管理署・支署から、ホクヨーへは1,580m³、北日本へは562m³となり、合わせて2,142m³となりました。ようやく各署の足並みが揃ってきたようです。

項目 樹種	長級 m	径級 cm	販売先		計 m ³	累計 m ³	出荷割合
			ホクヨープライウッド株	北日本プライウッド株			樹種毎 %
			m ³	m ³			
スギ	2.0	14上	1,432	531	1,963	6,905	83.6
カラマツ	2.0	14上	122	31	153	1,084	13.1
アカマツ	2.0	14上	26	0	26	269	3.3
合計			1,580	562	2,142	8,258	100.0

しかし、そろそろ地方にも好景気の波が波及してきて欲しいものだ。▽素流協ニュースでたびたび言及していることであるが、「流通」は、生産と消費の媒介役であり、経済の発展が進むほど流通の役割は増大する。ところで流通といってもその流通させるモノ(対象)は多様であるが、ある経済誌を読んでいたら「物流を軽んじる企業は滅

ぶ」という表題で書かれた文章があった。少し長くなるがその文章の要約を述べてみると、「アメリカにはロジステイクスを専攻できる経営大学院が28校もあって、米陸軍士官学校では優秀な人材が物流を専攻するそう。ところが、日本の経営者は口では「キャッシュフローが大切」とか「在庫管理を徹底する」とか言いながら、物流

に対する指示を下すとすると、「安くやれ、早くやれ」とこの二言しか言わない。しかし、物流というもの、流通全体の流れのある部分だけを最適化してもダメで、最初から最後まで全体の流れを最適なものにしなければ意味がないし、うまくいかないものだ」というのである。この論旨には大変感ずるところがあった。

素流協の流通機能を一層充実させるために参考になるであろう。ちなみに、ロジステイクスというのは、わが国で今ではあまり使われなくなったが、「兵站学」といって、兵員・軍需品の輸送・補給などに関する兵学のことである。

